

外傷のFirst Aid

交通事故
銃・刃物などの外傷

1. 受傷者を見たら (checkしたいこと)

2. First Aid

- ① 出血
- ② ショック
- ③ 骨折
- ④ 刺傷
- ⑤ 銃創
- ⑥ 頭、首、背骨の外傷
- ⑦ 救急蘇生法

3. 救急Kit

外傷者を見たら

- * 周囲の安全確認
- * 外傷者のCheck
 - 意識・呼吸・循環のcheck (ABCのチェック)
 - 頭のcheck
 - 目のcheck
 - 顔のcheck
 - 耳のcheck
 - 口のcheck
 - 首のcheck
 - 胸のcheck
 - 腹部のcheck
 - 手足のcheck

ABC

- A: Awareness (意識)
名前を呼ぶ
疼痛刺激を加える
- B: Breathing (呼吸)
- C: Circulation (循環)

出血

- ・ 安全確認
- ・ 血液・体液に直接触れない
- ・ 傷を覆う - ガーゼ、タオル、シャツ、布
- ・ 圧迫止血-創の真上
- ・ 異物がある場合:
周囲にガーゼなどをナッツ状に巻いて周囲を圧迫
異物はそのまま

出血

出血が止まらない

- ・ ガーゼなどを追加してさらに圧迫
(ガーゼは取らない)
- ・ 創を心臓より上に保つ
- ・ 冷却
- ・ 血管の圧迫
- ・ 足を挙上して循環血液を心臓へ集める。
- ・ 10-15分間圧迫 3 サイクル

出血 さらに止まらない

- ・ 全身状態の確認
 ショックの兆候
- ①意識がなくなる
- ②めまい・気が遠くなる感じ
- ③脱力感、起立・歩行ができない
- ④受け答えが正常でない
 不安感・不穏状態・恐怖感
- ・ さらに持続し生命の危険がある
 ターニケットによる止血

ターニケットによる止血

- ・ 圧迫で止血ができない
 状態が出血で悪化
 救急車がすぐに来ない
- ・ 最後の手段
 手足が壊死に陥る可能性
 神経損傷
- ・ 開始したら緩めない
 十分に止血されるまで圧を加える
 中途半端なターニケットは事態を悪化させる

胸部の外傷

- ・ 楽な姿勢をとらせる
 壁によりかかって、半座位
 患側を下方
- ・ 傷から呼吸音などが聞こえる
 泡状のものが出る
- *手のひらで傷口をおさえて、カバーする
- *ビニール・アルミフویل・サランラップ
 などで覆い、3方を固定する

腹部の外傷

- ・ 仰向けで膝を曲げて、横たえる
- ・ 傷を被覆する
- ・ ガーゼ・布・タオルなどで被う
 テープで固定

骨折の応急措置

- ・ 固定
 添え木・厚い布・新聞紙・雑誌
 足・指： 健側に固定
 腕なら三角巾でつるすだけ
- ・ 伸ばしたり、変形を回復しようとし
 そのままの形で固定
- ・ 固定はきつくしない
- ・ 指輪・ブレスレット・時計等は取る
- ・ 冷やす： 痛み・腫脹の軽減

頭部・頸部・背骨

- ・ 絶対に動かさない
- ・ 疑う兆候
 外傷・出血・腫脹・変形
 同部位の強い痛み
 腹痛・嘔吐
 口・耳・鼻から体液の流出→止めよう
 視覚の異常・瞳孔の左右差
 手足が動かない・動きにくい
 尿失禁
 意識障害
- ・ 可能なら固定(救急車が来るまで)
 両手で頸部を両横から保持する
 移動が必要な時：頭・首・体を一体として移動

救急蘇生法

- ・ ABCの確認
- ・ 意識がなく、呼吸が止まっていれば直ちに開始

CPRを適切に行うには訓練が必要しかし

- CPRはやらないより施行したほうがずっとまし
- Hand-only CPR

刺傷

- ・ 刃物などはそのまま抜かない
- ・ 受傷者はその場に安静にする(周囲の安全が確認できれば)
- ・ 患肢は挙上
- ・ 止血
- ・ 胸部の刺傷
- ・ 腹部の刺傷

交通外傷

- 頭部・首・背骨の損傷を疑ったら動かさない
- ヘルメットは取らない
- 止血
- 頭の傷は消毒をしない・洗わない
- 耳・鼻・口から体液が出ていないか

銃創

- ・ 自分の安全確認
- ・ 受傷者はその場で安静を保つ
- ・ ABCの確認
- ・ 傷の確認：四肢なのか躯幹なのか
- ・ 止血
- ・ 胸の銃創

毒蛇・さそり・毒くも咬傷 First Aid

- ・ 安全の確認と確保
- ・ 受傷者は寝かせる
身体的・精神的に安静を保つ
- ・ 全身状態の確認
ABC---CPR

First Aid

- 傷：決していじらないのが原則
軽くぬれたタオルなので拭くのは可
- 指輪、時計、ブレスレットなどはすぐはずす
- 剛木などで固定する
- ターニケット、テーピング、切開、吸引など処置はしない
- 冷やすことは痛み・腫脹の軽減に役立つかもしれない
- すぐに病院へ移送
移送時患肢の安静を保つ
筋肉の動きは毒素を全身に広げる

Don't

- 切開
- 吸引
- ターニケット
- 冷却
- 患肢の挙上
- 鎮痛剤

- 有毒なさそり咬傷で注意すべきこと

* 14歳以下の小児においては全身症状が強く現れる可能性がある

* 病院受診と入院観察

病院リスト

- Clinica Sao Vicente da Gvea (総合病院)
Rua Joo Borges, 204, Gvea TEL:2529-4422
- Hospital Samaritano (総合病院)
Rua Bambina, 98, Botafogo TEL:2537-9722
- COPADOR HOSPITAL (総合病院)
Rua Figueiredo Magalhaes, 875, Copacabana TEL:2545-3600
- Clinica Ortopdica e Traumatologica (整形外科)
Rua Barao de Mesquita, 112, Tijuca TEL:2264-0496
- Lamina (検査センター)
Rua Dezenove de Fevereiro 76, Botafogo TEL:3350-6518
- AMIU (小児科総合病院)
Rua Muniz Barreto, 535 - Botafogo TEL:2103-6464
- Centro Pediatrico Lagoa (小児科診療所 / 24 h)
Av. Lineu de Paula Machado, 64, Lagoa TEL:2275-7698

主な医師リスト

- Dr. Alfredo Joo Filho (小児科)
Rua do Catete, 311 s/718, Catete TEL:2285-7349
- Dr. Hiroshi Abe (産婦人科)
- Rua do Catete, 311 s/1012, Catete TEL:2265-3354
- Dr. Joo Ando (眼科、日系)
Av. das Amricas, 4790 s/427 (Centro Mdico Barra Shopping)
TEL:3325-3281
- Dr. Claudio Jun Mitsuya (内科、日系)
Rua Sorocaba 464 s/201, Botafogo TEL:2537-9005
- Dr. Tadashi Kitamura (循環器、内科、日系)
Largo do Machado, 39 4 andar sala 8, Catete TEL:2285-4137
- Dra. Noemia Mizutani (皮膚科、日系)
Largo do Machado, 29 sala 1021, Catete TEL:2557-0166
- Dra. Laurinda Yoko (小児科、日系)
FAX:2521-1326